

国際オートメカニク科			2027年度 授業計画		
時 期	2年前期	単元	実習	教科名	車両実習 4
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書 3 級自動車整備士（総合）		発行日 2026年2月26日
総時限	31				教科 担当 坂口 正憲 石井 隆幸
総時間	49.6				
単 位	1				
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当 自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車点検整備について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） ・ 1 2ヶ月点検を確実に行うことができる ・ 点検機器を正確に取り扱うことができる。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか） 1. 1 2ヶ月点検を抜けなくできる。 2. 点検時間を意識し手順を考え作業できる。 3. 各所の点検方法が分かる 4. 点検各所の良否の判断ができる 5. 測定機器使用し点検ができる 6. 安全に作業ができる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目） ・ 学科履修試験とレポートルーブリック採点で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 作業の注意点を○×問題、又、レポート評価により100点満点で評価する。 ・ 合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・ 不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・ 再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習 ・ 2級自動車整備士（総合）の制動装置について予習しておくこと。					
6. 学修時間と単位 本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。					

国際オートメカニク科

2027年度 授業計画

時 期	2年前期	単元	実習	教科名	車両実習 4	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	導入：実習概要の説明、目標、安全説明				一体型真空制動倍力装置	10
2	日常点検、法定点検				分離型制動倍力装置	10
3	定期点検について				エア・コンプレッサ	5
4	エンジンルーム点検項目の確認				ドライヤ	5
5	定期点検実習、エンジンルーム点検 1				ブレーキ・バルブ	10
6	定期点検実習、エンジンルーム点検 2				リレーバルブ	10
7	定期点検実習、エンジンルーム点検 3				エア・マスター	5
8	定期点検実習、エンジンルーム点検4				日産3級科目別プリント(冊子)	48
9	定期点検実習、エンジンルーム点検 5				デイズ	1
10	定期点検実習、エンジンルーム点検 6				コンサルト	1
11	エンジンルーム確認試験（10分）					
12	エンジンルーム確認試験（10分）					
13	記録簿記入の仕方					
14	足廻り、ブレーキ点検項目の確認。ベルト脱着、調整要領（HR15試運転台）					
15	定期点検実習 足回り、ブレーキ点検 1					
16	定期点検実習 足回り、ブレーキ点検 2					
17	定期点検実習 足回り、ブレーキ点検 3					
18	定期点検実習 足回り、ブレーキ点検 4					
19	定期点検実習 足回り、ブレーキ点検 5					
20	定期点検実習 足回り、ブレーキ点検 6					
21	定期点検実習 足回り、ブレーキ確認試験（20分）					
22	定期点検実習 足回り、ブレーキ確認試験（20分）					
23	定期点検実習 足回り、ブレーキ確認試験（20分）					
24	下廻り点検項目の確認					
25	定期点検実習 下廻り点検1					
26	定期点検実習 下廻り点検 2					
27	室内、灯火装置、点検項目の確認					
28	定期点検実習 室内、灯火装置点検 1					
29	定期点検実習 室内、灯火装置点検 2					
30	定期点検実習 室内、灯火装置点検 3					
31	定期点検実習 室内、灯火装置確認試験					
※	実習試験					

※ 期末試験は授業時間に含まない